

花のような八十の人生が
風のように流れ去る
月になり星になり
太陽になり花にならん

祝

축제

祭



題字：荒木経惟

イム・グオンテク 林権澤監督作品

出演：アン・ソンギ 安聖基(『眠る男』)+ オ・ジョンヘ 吳貞孩(『風の丘を越えて〜西便制』)

協賛：韓国観光公社 / アジアナ航空 配給：cineQuanon シネカン



死：
お葬式：
それは
悲しみに満ちたものだろうか。
いや、
それは祝祭だ。
死者と残された者たちとの、
祝祭だ。

アジアの巨匠、イム・グォンテクが贈る、生の歓びと再生を謳った、感動の物語—。

■バンソリの旅芸人親子の生き方を通して“伝統”の持つ意味を改めて現代人に問いかけた『風の丘を越えて～西便制』から3年。つねに独自の視点からアジアに共通の感情を描きつづけるイム・グォンテク監督待望の新作が遂に完成した。“お葬式”を舞台に繰り上げられる様々な悲喜劇、愛や葛藤、複雑な人間模様…。それらすべてを含めて、お葬式を人生最大のセレモニー、“祝祭”であるとするイム・グォンテクのまなざしは、家族の絆や生と死の問題をみつめる暖かさにあふれている。『祝祭』は21世紀の高齢化社会を目前にした現代人に贈る、死と再生を巡る感動のメッセージである。

『生と死が混然一体となった、驚くべき作品である!』(仏ノル・モンド紙)

■96年4月の完成当初は「あまりに韓国的で土俗的な世界」を描いたことに国内でとまどいの声もあったが、公開後わずか1カ月で30万人の動員を記録、その後ハワイ映画祭をはじめとする各国映画祭でも驚嘆と暖かい共感をもって迎えられ、11月に出品上映されたフランスのナント映画祭では「生と死が混然一体となった、驚くべき作品である」(仏ノル・モンド紙)と絶賛された。

『眠る男』のアン・ソングと

『風の丘を越えて』のオ・ジョンへ

二大スーパースターの共演が実現!

■主人公の人気作家には、『眠る男』(96年/小栗康平監督)の主演で日本でも新たなファンを獲得した世界的スーパースター、アン・ソング。『風の丘を越えて～西便制』ですすがしいデビューが今も記憶に新しい女優、オ・ジョンへが共演している。音楽は『風の丘』に引き続き、韓国ニューミュージック界の旗手、キム・スチョルが雄大な自然を背景に伝統音楽とポップスとの融合をはかりながら悲しみの中にも昂揚感のある美しい旋律を聞かせている。

1996年/韓国/カラー/ヴィスタサイズ/102分

協賛：◆韓国観光公社 ◆アジア航空

後援：駐日大韓民国大使館韓国文化院

配給：cine@uanon シネカノン



6月28日(土)よりロードショー!!

前売券1,400円 大絶賛発売中!

当日一般1,700円/大1,500円/中・高1,400円/シニア・小1,000円
劇場窓口および各プレイガイド、チケットセゾン、チケットぴあ、ローソンチケットにてお求め下さい。

連日 10:40 12:55 14:50 16:45 18:40

『祝祭』公開記念 6/21～6/27 上映時間 12:20 2:25 4:30 6:35

『風の丘を越えて～西便制』アンコール上映決定!!

一般1,300円、学生1,100円、シニア・小人1,000円(当日のみ)

第七藝術劇場

THE SEVENTH ART THEATER

阪急十三駅西口、栄町商店街徒歩2分左側
サンボードシティ6F ☎06(302)2073

